

わかったような、  
わからないような…。  
そのもやもやを、  
今こそ一気に解消せよ！

あって  
当たり前から  
最新規格へ

# おさらけ ETC2.0



「ETC2.0」という名称を、目にする機会が増えてきた。どうやらそろそろ、これが何なのかを知つておかないと損をする、そんな雲行きになってきた。いまいちピンと来ていないというのなら、この特集をよく読んで、もやもやを一気に解消すべし！

テーマ 1

## 「ETC2.0」って、そもそも何？「DSRC」との違いは？

「ETC2.0」とは  
サービスの名称、である

最初に、基本事項を整理しておこう。まず理解すべき重要なポイントが2点ある。「ETC」の機能を含んでいるものの「ETC」とは別ものだということ。そして、「ETC2.0」とは、サービスの名称であるということ（機械の名称ではない）。この2点が非常に重要な。

サービスの詳細は次ページ以降で解説するが、ざっくり中身は3本柱で構成されている。書き出したとおり、新サービス、情報提供サービス、そして、ETCによる高速道路料金払い、この3つからなっている。

ちなみに「ETC2.0」とは、これまで「ITSスポットサービス」と呼ばれていたものから名称変更されたものである。呼び名がわり、「新サービス」が加わった、というわけなのだ。ややこしいのは、「ITSスポットサービス」を受けるため必要だった機械は「DSRC車載器」と呼ばれていたのだが、サービス名が「ETC2.0」と変わることにより、機械の

名前も変えられたこと。中身はほぼ同じなのに「ETC2.0車載器」と名前だけが変わってしまったのだ。以前は、無線通信技術の名前で呼ばれていたのに、今度は、サービス名で呼ばれているのだ。

なお、もう「DSRC」という無線通信技術名は表に出なくなつたので、この名称のことは忘れてもいい。むしろ忘れたほうがわかりやすい。さて、以上が整理しておくべきポイントだ。次ページ以降ではこれを踏まえて、利点や利用方法の詳細を解説していく。

### 「ETC」

- 高速道路料金支払い
- 「ITSスポットサービス」
- 情報提供サービス
- 高速道路料金支払い

### 「ETC2.0」

- 新サービス
- 情報提供サービス
- 高速道路料金支払い